



震災現場(坂総合病院)～現地報告



長田さん、斎藤さんと合流、とても心強いです。

早朝に被災地を見学、6時半に水くみに50人くらい並び、ガソリンスタンドには2km以上の行列。

今日は救急レッドブルース対応でした。

余り重症者は来なかったけど、津波に車ごと飲み込まれて、奇跡的に近所の人に助けられて、その人の家に滞在していた30代が胸痛で受診、海水の大肺葉性の誤嚥性肺炎、CRP50！！

作業中に心筋梗塞？を起こした人や、避難所で食事少なく低血糖になったなどの二次災害が多くなっています。

ニュースでは原発の話ばかりですが、こちらは衣食住と医療介護が成り立っていない人の、今ある大きな問題で持ちきり、と被災地とその他の乖離が気になります。やはり、自分のことが気になるのでしょうかね、人間ですし。今村先生は風邪気味です。 18日に現地出発する予定です。 (ささき)

おはようございます

宮城は今日は雪です。昨夜、全国から来ている支援医師約50人で初のミーティングをしました。

①今回の震災は史上空前のもので、阪神大震災の延長ではない。

②これから避難所での慢性疾患の急性増悪、インフルエンザなどの感染症の急増が予想される。

③宮城厚生年金病院（580床）が地震で使用不能になり、患者移送を勧めている。塩釜、多賀城市でとともに機能しているのは坂病院のみ。長期に坂病院を支援する必要がある。

④鹿児島、山梨の先生は帰郷後、すぐに記者会見して、「日赤などは日常医療を制限しても現地を支援せよ」と訴えるとのことです。滋賀はどうしようかな・・・。

佐々木先生は今日は、在宅患者の安否確認往診にゆきます。今村はトリアージのため待機です。坂総合病院の今田（こんだ）院長を写真をとりました。二人は元気です。 (今村)



15日午前中は多賀城市的避難所を訪問。約1000人が避難されています。病院にはひっきりなしに救急車が来ています。到着時には見えなかった街の風景、塩釜市は見たところ大したことはありませんが、隣の多賀城市は水没を目の当たり。午後は若林クリニックの復旧をしました。カルテは散乱、棚が倒れ大変です。停電も続いているので再開見通しなし。あまり通信が確保されていません。 (長田)